

「ビートルズ超マニアック 音源を全国放送してみる」 の巻

またまた私の順番が回ってきましたので、またまたビートルズネタです。

ビートルズコレクターとして変わったことばかりしているのでとうとう「世界一受けたい授業」や「有吉のお金発見 突撃!カネオくん」などテレビ番組に出演に至ってしまったお話をこれまでにさせていただきました。本業の仕事での出演ではないのでお恥ずかしい限りなのですが、趣味も仕事の原動力になるという意味では大切なものと割り切って(≒開き直って)、先日はまたまた恥ずかしげもなく「所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ!」にも出演させていただきました。私のビートルズコレクションを格納している秘密基地を「世田谷ベースみたいなものです」と紹介したところ、所ジョージさんご本人にお褒めいただき(?)、マニア冥利に尽きる想いをさせていただきました。

あまりこんなことばかりしていると「こいつ仕事してないな」と思われる恐れが高いのもうこれくらいでメディア露出は終わりにしようと思っていた矢先、今度はちょっとラジオに出てもらいたいとのお話がやってきました。知人のメディアプロデューサー、サミー小川さんからのお話です。番組名は「The Beatles Lover No.5」で日本全国60局のコミュニティラジオで放送されるビートルズ界では人気の番組で、パーソナリティはその小川さんと、もうお一方は「何も言えなくて…夏」で紅白歌合戦にも出演した超有名バンドJAYWALKのキーボード奏者、杉田裕さんです。今回のお話は私の秘密基地でお二人揃って番組出張収録をしたいというものでした。お二人のお人

飄

々

広報委員

吉川 功一

柄はよく存じ上げていたのであっさりお話を受けさせていただきました(メディア露出は控えようとさっき言ってたくせに)。番組内容をお聞きますと、簡単な台本はあるものの、ほぼその場のノリでコレクションに関してお話をし、私の選んだお気に入りのビートルズナンバーを流すといった流れのようです。収録は放送3回分で、つまり3回分計3曲の楽曲を選んでおけば良いとのことでした。さて、何を話して、何を流そうか?? 普通はシンプルにビートルズの好きな3曲を流しておけば良いのですが、3曲選ぶのは難しいですし(それはコアなファンになるほど難題です、日替わりで好きな曲は変わりますし)、せっかく流していただけるのに普通に曲を流してもらっても面白くありません。そこで事前にじーっくり考えて、とある3つの音源を流してもらうことを決めました。もちろん非合法的な音源は流せないのもそのあたりも考慮した上での厳選音源です。音源はすべて私のコレクションから用意しました。

そして2025年5月に小川さん、杉田さんが実際に宇部のわが秘密基地にこられて楽しく番組収録を行いました。そして翌6月に3週間にわたって無事に全国放送されたのであります。その放送では実にマニアックな音源3つが無事放送されました。あまりにマニアックでいずれも日本初放送、いや世界初?に間違いありません。しかもいずれもレアです。さてその3つの音源とは一体何だったのでしょうか?その答えは以下の通りなので解説付きでご紹介いたしましょう。

①日本国内最古のビートルズレコード「マイ・ボニー・ツイスト」の見本盤

これは2023年5月号の飄々でもご紹介した、ビートルズ日本盤の中でも最高峰のレア度に位置づけられる超お宝レコードです。このシングル「マイ・ボニー・ツイスト」は、ビートルズが東芝音楽工業から日本デビューする1964年より2年も前の1962年4月に日本グラモフォンから密かに発売されていたレコードです。クレジットは「トニー・シェリダンと彼のビート・ブラザーズ」となっていますが、何を隠そうこの「彼のビート・ブラザーズ」こそが下積み時代、デビュー前のビートルズなのです。しかもその見本盤ですから間違いなくこの広い日本でも最も古いビートルズの音を収録した日本盤レコードなのです。番組ではその逸話と、この「マイ・ボニー・ツイスト見本盤」の音を実際に流していただきました。プチプチとしたスクラッチノイズの奥から聞こえてくる音はまさに日本最古のビートルズの音なのでありました。その当時ラジオ局でこのレコードが放送されたことがあった可能性もなくはありませんが、仮にそうであっても63年ぶりに電波に乗ったことになります。

②アメリカ版の8トラックにのみ収録された「サージェント・ペパーズ（リプライズ）のロングバージョン」

皆さん8トラックテープはご存じでしょうか？1971年生まれ私でもぎりぎり知っているレベルの過去の遺物なのですが、これはその8トラックテープ（アメリカ版）にのみ収録されているサージェント・ペパーズ（リプライズ）のレアなロングバージョンなのです。なぜそのようなものが存在するのか？ざっくり説明すると以下の通りです。8トラックテープは1本の長いループ状になったテープで、そこに4つのプログラムがテープに平行に音声収録されています。1つのプログラムには3-4曲が収録され、テープが1周してプログラム1が終わると自動的にプログラム2に切り替わり、その後もプログラム2→3→4→1→2…というようにエンドレス再生される仕組みになっています。つまりプログラムごとの収録時間をなるべく揃えておかないとプログラム切り

替わりの際に不自然な無音ブランクができてしまうのです。このために通常アルバム（LP）とは異なった曲順に組み替えて収録されていたり、無理矢理楽曲を（アーティストの意向は無視して）編集で引き延ばしていたりすることがあります。言葉で説明するのは難しいのですが判っていただけたでしょうか？ともあれ、この「アメリカ版の8トラックにのみ収録されたサージェント・ペパーズ（リプライズ）のロングバージョン」はレアだけでなく、今時8トラックテープなんて聴く人はいませんから、そもそもほとんどその存在を知る人すらいません。ということでこのレアなロングバージョンをラジオで全国放送してみました。これまた日本史上初に間違いのないでしょう。いやアメリカでも8トラックテープを放送に使用することなんてないでしょうから世界初であった可能性すらあるのです。

③「ジョンとヨーコのバラード：ニュージーランドプロモオンリー検閲盤」

「ジョンとヨーコのバラード」は1969年のシングル曲ですが、その歌詞に問題があり一部の国では放送禁止になったことでも知られています。その問題の歌詞はサビにでてくる以下の箇所です。「Christ! You know it ain't easy, You know how hard it can be, The way things are going, They're gonna crucify me」のなかの「Christ」＝キリストと「crucify」＝磔（はりつけ）の組み合わせが問題となったのです。放送禁止になるとプロモーションどころではなくなるのですが、ニュージーランドのレコード会社は一計を案じます。「いっそ歌詞のChrist! をカットしてしまえば放送してもいいんじゃない？」なかなかの妙案ではごぞいませんか！というわけで、ニュージーランドのプロモーション盤のみに収録されているこのテイクでは、ご丁寧にすべてのChrist! の箇所がカットされているのです。通常未修正バージョンを聴き慣れた耳でこれを聴くとカットされた箇所がいちいちズッコケそうになって面白いのですが、あろうことかこれを全国放送してしまいました。ズッコケてどこかで交通事故でも引き起こしてないか若干心配ではありますが、これまた日本史上初の放送だったのではないかと思います。

それにしてもこんなマニアックな3曲がFM電波に乗って日本全国津々浦々で放送されたのは間違いなく日本放送史上初の出来事だったでしょう。ただし私が想像するに放送を聴いた多くの方々はみんなポカーン??だったことでしょう。ちなみにパーソナリティの小川さん、杉田さんもなかなかのポカーンぶりでありました(笑)。しかし日本は広い、おそらく全国で何人かは飛び上がってびっくりしたビートルズマニアの方もいらっしゃるのではないかと密かに期待しており、マニア的には痛快な思い出になったのでありました。

そして番組収録後、小川さんと杉田さんのお二人と一緒に宇部市内で酒を酌み交わしながらまたまたビートルズ談義に花咲かせていただきました。それにしても紅白出場歌手の方と自宅近所の居酒屋で楽しい時間を過ごさせていただくという非日常感、これまたビートルズのおかげ、ビートルズ様々なのであります。まだまだビートルズ趣味はやめられそうにありません。



表紙写真の募集

山口県医師会報の表紙を飾る写真を随時募集しております。
アナログ写真、デジタル写真を問いません。
ぜひ下記までご連絡ください。
ただし、山口県医師会会員撮影のものに限ります。



〒753-0814 山口市吉敷下東3-1-1 山口県医師会総務課内 会報編集係
E-mail : kaihou@yamaguchi.med.or.jp